

いずものくにさんいんどうあと 「出雲国山陰道跡」国史跡の答申について

11 月 17 日（金）に開催された国の文化審議会（会長 馬淵明子）文化財分科会において、「出雲国山陰道跡」を国史跡に指定するよう文部科学大臣に答申されました。今後、官報告示後（3 月中旬頃）に正式決定の予定です。

- | | |
|--------------|------------------------------------|
| 1 指定の対象の名称 | 出雲国山陰道跡 |
| 2 指定の対象の所在地 | 出雲市斐川町神水・直江 |
| 3 指定の対象地域の面積 | 21,979.47 m ² （約 2.2ha） |
| 4 指定の状況 | 出雲市所在の国指定史跡 13 件目 |
| 5 指定の理由 | |

杉沢遺跡等の山陰道跡は、今から約 1300 年前に都を起点に全国に張り巡らせた七道駅路の一部です。延長 1 km にわたって幅 9 m の古代官道跡の痕跡を良好に留め、当時の多彩な土木技術を知ることができる全国でも数少ない遺跡として評価されました。

また、『出雲国風土記』に記載のある「正西道」が、この道路跡の築造年代や規模等と重なることから、『出雲国風土記』の記述を裏付けた価値ある史跡です。

（写真は杉沢遺跡 2013.10 撮影 西から）

